



「2025 年も よろしく願いいたします」

教頭 檜山 亮

22 日間の冬休みを終え、3 学期がスタートしました。子どもたちの明るく元気いっぱいな顔を見ると、私たち職員も元気が湧いてきます。冬休みに入る直前には、本校を含む札幌の多くの学校で、インフルエンザや新型コロナウイルス、咽頭炎など、発熱や咳、鼻水、喉の痛みといった風邪症状の見られる病気が大流行しました。風邪やインフルエンザは、疲れているときほど感染しやすいと言われています。長い2 学期を頑張り抜いた疲労が、少なからず影響していたのかもしれませんが。きっと、お正月には、ゆとりのある時間の中で、おいしいものをたくさん食べ、疲労を回復し、心と体にエネルギーを蓄えられたことでしょう。

さて、正月料理といえば、何を思い浮かべるでしょうか。やはり、おせち料理やお餅でしょうか。私は函館出身なのですが、欠かすことのできない正月料理といえば、何ととっても「くじら汁」が思い浮かびます。「くじら汁」は道南地域の郷土料理で、塩くじらの脂身を豆腐や山菜、大根、人参、里芋、こんにゃくなどと合わせて塩味（家庭によっては醤油味）で煮込んだものです。昔、北海道では、たんぱく源となるくじらは貴重な食材であり、厳しい冬を乗り切るために、塩蔵した塩くじらを作って保存食としていたそうです。「くじら汁」は、その塩くじらを使い、一緒に煮込む食材も、晩秋の季節に収穫した越冬野菜や塩漬けにした山菜といった保存食が使われていました。つまり、極寒の北海道の冬を乗り切るための知恵の詰まった料理だといえます。私の実家では、大晦日に作った「くじら汁」を、三が日まで毎日食べます。

そのほかにも、伊達巻、数の子、黒豆、昆布巻き、栗きんとん、紅白なます、海老など、一般的なおせち料理も食べます。それぞれのおせち料理には、学業成就、子孫繁栄、健康、喜び、財産、平和、長生きという意味が込められているそうです。



また、本校の幼稚部では、お正月に向けて「もちつき」をするのが恒例となっていますが、正月にお餅を食べることにも由来があります。昔、お餅には、その年の豊作や幸せを司る年神様の魂が宿ると考えられていたそうです。神様から生きる力をいただくというわけです。

このように、正月料理には、「健康でありたい」、「豊かな生活を送りたい」という願いが込められていることが分かります。人の願いというのは、昔も今も変わらないものだと感じます。

今日から始まった3 学期は、期間は短いものの、進級や卒業に向けての活動が目白押しの忙しい学期です。冬休みに、家庭でたっぷりと蓄えたエネルギーを上手に使って、元気いっぱいに取り組んでもらいたいと思います。

冬休み中、本校において、大きな事故やけがなどの報告がなかったことは、いつも見守ってくださる保護者の皆様、地域の皆様方のおかげだと思っています。2025 年も、本校の教育活動への変わらぬ御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

幼児児童生徒の様子

幼稚部 クリスマス会

幼稚部の行事の中でも、子どもたちが特に楽しみにしているのがクリスマス会です。12月に入ったあたりから、「今年はサンタさんはくるのかな?」、「サンタさん、どこから入ってくるのかな?」といった話が、子どもたちからたくさん聞かれました。

当日は、年長さんがキャンドルサービスをしたり、みんなでゲームしたりして楽しみました。そして、待ちに待ったサンタさんの登場! スポットライトで照らされたサンタさんを見た子どもたちは、とてもいい笑顔になり、その後は一人一人サンタさんから手渡しでプレゼントをもらいました。

一緒にダンスまで踊ってくれたサンタさん。幼稚部のみんなが、一年間毎日楽しく元気に過ごしていれば、きっとまた来年も来てくれることでしょう。(島田)



～2月行事予定～

3日(月)	まめまき(乳)、豆まき(幼) 朝会・生徒総会(中) 冬季集団下校訓練	17日(月)	生徒会役員選挙(中) 高等聾学校入選合格発表
5日(水)	入学説明会(中)	19日(水)	誕生会(幼) SC来校日
7日(金)	冬の遠足(幼) スキー学習(中)、漢検③	21日(金)	スキー学習(小3～6)
10日(月)	公立高校推薦入学面接日 二計測(幼)	25日(火)	個別懇談週間(～3/5)
12日(水)	一日入学・入学説明会(小)	28日(金)	6年生を送る会(小)
13日(木)	新3歳一日入学(幼) 後期期末テスト(中1、2) PTA手話サークル⑨	【日程調整中】 耳鼻科相談日	
14日(金)	算数・数学検定		

学校でのこと、家庭でのこと、対人関係でのこと、悩み事はありませんか?

身近な人に話せない、でも誰かに聞いて欲しい、そんなときに様々な相談ができる窓口をご紹介します。札幌市在住の18歳未満の子ども(18歳、19歳の高校生を含む)のことについて、子どもも大人も相談することができます。

子どもアシストセンター(札幌市子どもの権利救済機関)

- ・電話(子ども専用フリーダイヤル: 0120-66-3783、大人用: 011-211-3783)
- ・メール(assist@city.sapporo.jp)
- ・LINE(子ども専用): LINEアプリで「子どもアシストセンター」を検索し、友だち登録してください。

相談受付日時 月曜日～金曜日: 10時～20時、土曜日: 10時～16時
(日祝日及び12月29日から1月3日を除く)

